

# 2020年度 第3四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

## <概況>

受注量については、全ての業種で持ち直しの動きが見られた。今後の見通しについても、受注量の調査同様、全体的に持ち直しの動きが見られる。

受注単価については、大きな変化は見られず、資金繰りについては、「悪化」と回答した企業の割合が減少した。

ただし、採算状況については、多くの業種で「赤字」企業の割合は減少したものの、約4割が「赤字」と回答し、依然として厳しい状況が続いている。

また、受注余力についても、若干の改善は見られるものの、前回調査同様8割以上の企業が「受注余力あり」と回答した。

## <項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全ての業種で持ち直しの動きが見られる。
- (2)受注見通し : 「受注減」を見通す企業の割合が減少し、全体的に持ち直しの動きが見られる。
- (3)受注単価 : 全体的に大きな変化はなかった。
- (4)資金繰り : 「悪化」と回答した企業の割合が減少した。
- (5)採算状況 : 多くの業種で「赤字」企業の割合は減少したものの、約4割が「赤字」と回答している。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が約8割と回答している。

## <分析>

調査対象企業のうち22社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中での調査となったが、受注量については、一時期の落ち込みから、全体的に持ち直しの動きが見られた。

国内消費の増加や中国経済の回復等が起因となり、府内製造業の受注動向も全体的に上向きの傾向にある。なかでも、前回（7～9月）調査時から持ち直しの動きが見られた自動車産業や半導体産業関連の受注は活況であるという声が多く聞かれ、本格的普及が進む次世代通信規格「5G」や、新型コロナウイルス感染症に関連する検査機器等の分野では特需が続いている。

一方で、工作機械等の生産設備関連では、受注量の低迷が続いている企業が多く、現在も国内外企業の設備投資抑制の影響を引きずっていると見られる。また、景気の変動を受けにくいとされる医療機器分野においても、コロナ患者の増加により、通常の医療が先送りになったことで、部品の受注量が減少する企業もあった。その他、鉄スクラップの価格高騰により利益が圧迫されているとの声もあり、今後動向を注視していく。

今後については、受注増を見通す企業の割合が増えており、徐々に回復していくと予想されるが、2021年1月に京都府を含む11府県で緊急事態宣言が発令されたことにより、外出自粛等で経済活動が抑制されるリスクがあるほか、半導体の供給ひっ迫により、国内自動車メーカーが生産を縮小していることもあり、一時的に景気が下振れることが懸念される。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2020年10月～12月  
(2020年12月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 254社 (回答率 84.7%)

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん  
の円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

### (3) 調査時点

2020年12月末日現在

### (4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

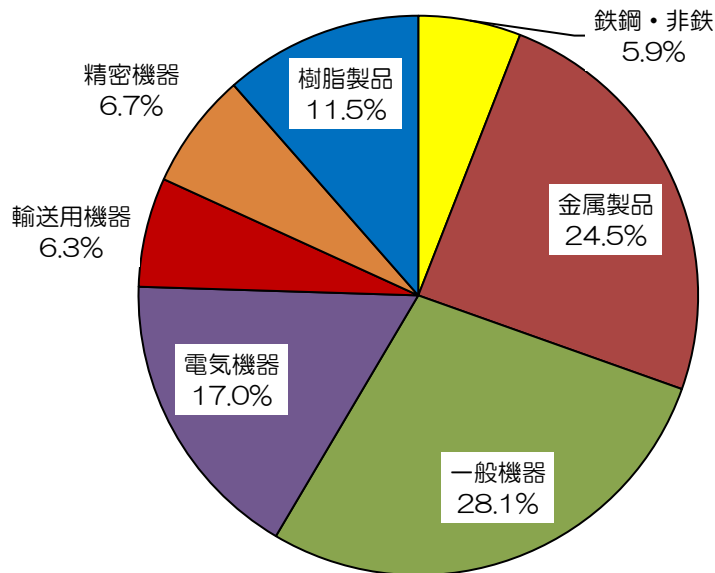
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）  
※一部企業へはヒアリング調査を実施

### (5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	254社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	15社	( 5.9% )	
金属製品関係	62社	( 24.4% )	
一般機器関係	71社	( 28.0% )	
電気機器関係	44社	( 17.3% )	
輸送用機器関係	16社	( 6.3% )	
精密機器関係	17社	( 6.7% )	
樹脂製品関係	29社	( 11.4% )	
④ 回答率	84.7%	[前回：82.0%]	

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	6 2.4%		1 1.6%		2 4.5%			3 10.3%
~300万円	16 6.3%		4 6.5%	3 4.2%	3 6.8%	2 12.5%	1 5.9%	3 10.3%
301~999万円	13 5.1%		3 4.8%	6 8.5%	1 2.3%	1 6.3%		2 6.9%
1000~2000万円	143 56.3%	8 53.3%	40 64.5%	41 57.7%	24 54.5%	4 25.0%	11 64.7%	15 51.7%
2001~5000万円	57 22.4%	5 33.3%	14 22.6%	17 23.9%	10 22.7%	3 18.8%	3 17.6%	5 17.2%
5000万円超	19 7.5%	2 13.3%		4 5.6%	4 9.1%	6 37.5%	2 11.8%	1 3.4%
合 計	254 100%	15 100%	62 100%	71 100%	44 100%	16 100%	17 100%	29 100%

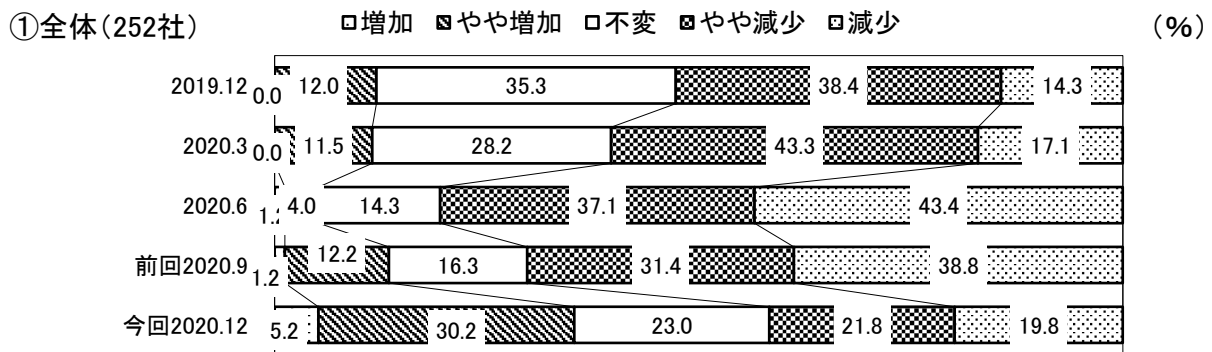
### (3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

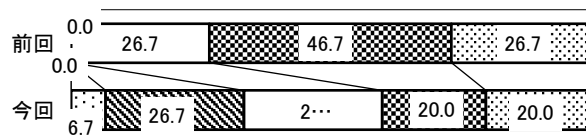
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	18 7.1%	3 20.0%	4 6.5%	6 8.5%	2 4.7%			3 10.3%
6~10人	28 11.1%	1 6.7%	5 8.1%	13 18.3%	2 4.7%	3 18.8%	2 11.8%	2 6.9%
11~20人	68 26.9%	2 13.3%	17 27.4%	23 32.4%	11 25.6%	1 6.3%	5 29.4%	9 31.0%
21~30人	40 15.8%	3 20.0%	16 25.8%	10 14.1%	5 11.6%	1 6.3%	1 5.9%	4 13.8%
31~50人	39 15.4%	4 26.7%	7 11.3%	8 11.3%	9 20.9%	4 25.0%	3 17.6%	4 13.8%
51人以上	60 23.7%	2 13.3%	13 21.0%	11 15.5%	14 32.6%	7 43.8%	6 35.3%	7 24.1%
合 計	253 100%	15 100%	62 100%	71 100%	43 100%	16 100%	17 100%	29 100%

### 3. 調査結果

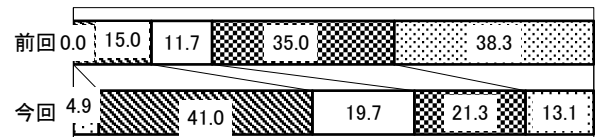
#### (1) 受注量について



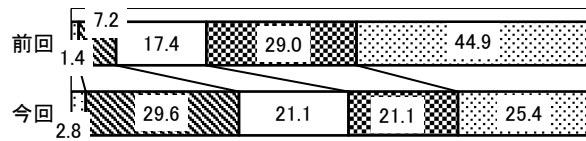
②鉄鋼・非鉄 (15社)



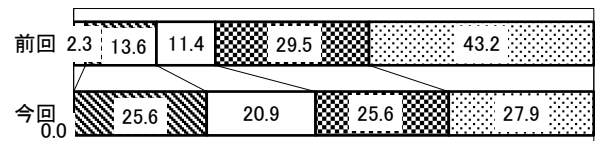
③金属製品 (61社)



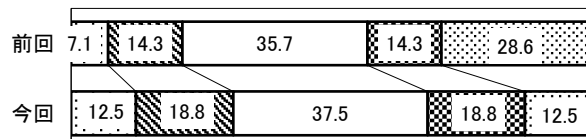
④一般機器 (71社)



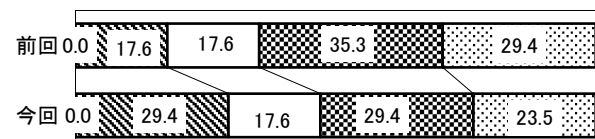
⑤電気機器 (43社)



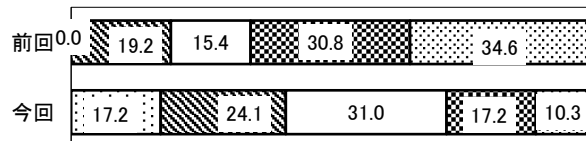
⑥輸送用機器 (16社)



⑦精密機器 (17社)



⑧樹脂製品 (29社)



○全体

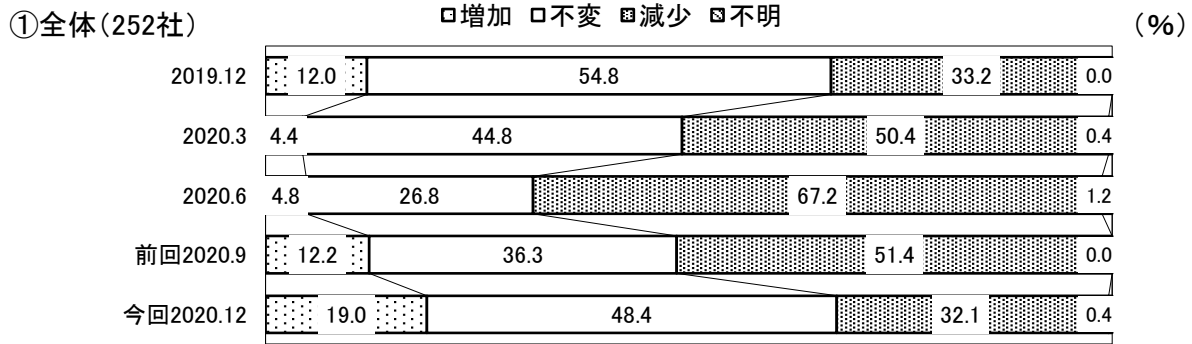
・10月～12月期の受注量の業況判断D1（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.2となり、前期（7月～9月期）のD1値▲56.8と比べ50.6ポイント上昇し、全ての業種で持ち直しの動きが見られる。

○業種別

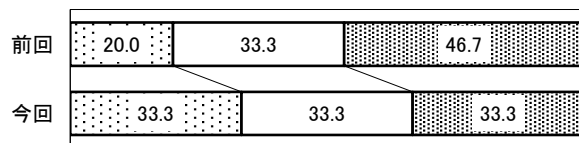
・D1値は、樹脂製品（13.8）、金属製品（11.5）の2業種でプラス。輸送用機器は±0となり、鉄鋼・非鉄（▲6.6）、一般機器（▲14.1）、精密機器（▲23.5）、電気機器（▲27.9）の4業種でマイナスとなった。

・D1値を前期と比較すると、金属製品（69.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（66.8ポイント）、樹脂製品（60.0ポイント）、一般機器（51.2ポイント）、電気機器（28.9ポイント）、精密機器（23.6ポイント）、輸送用機器（21.5ポイント）の7業種全てで上昇した。

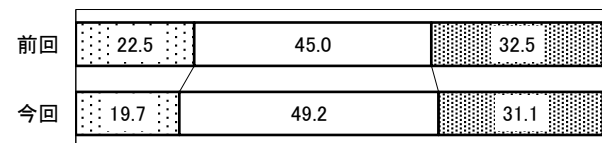
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



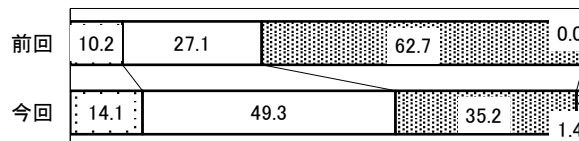
②鉄鋼・非鉄(15社)



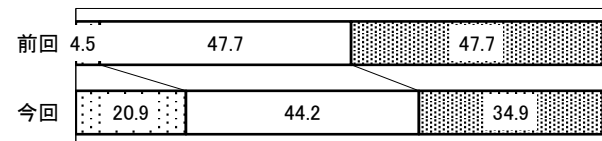
③金属製品(61社)



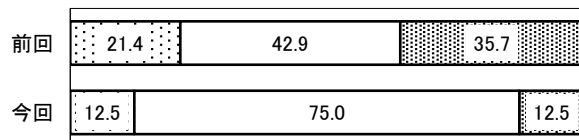
④一般機器(71社)



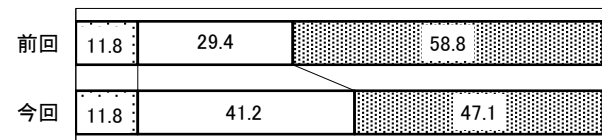
⑤電気機器(43社)



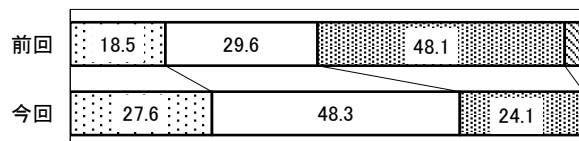
⑥輸送用機器(16社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(29社)



○全体

・次期(1月~3月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲13.1となり、前期(7月~9月期)調査時のD I値▲39.2と比べ26.1ポイント上昇し、「受注減」を見通す企業の割合が低下し、全体的に持ち直しの動きが見られる。

○業種別

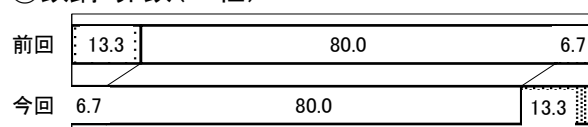
・D I値は、樹脂製品(3.5)の1業種のみプラス。輸送用機器、鉄鋼・非鉄の2業種で±0となり、金属製品(▲11.4)、電気機器(▲14.0)、一般機器(▲21.1)、精密機器(▲35.3)の4業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、樹脂製品(33.1ポイント)、一般機器(31.4ポイント)、電気機器(29.2ポイント)、鉄鋼・非鉄(26.7ポイント)、輸送用機器(14.3ポイント)、精密機器(11.7ポイント)の6業種で上昇。金属製品(▲1.4ポイント)と1業種のみで低下している。

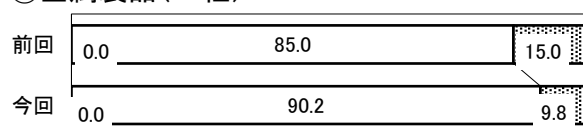
### (3) 受注単価について



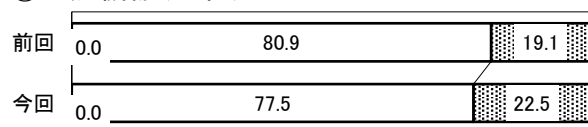
#### ②鉄鋼・非鉄(15社)



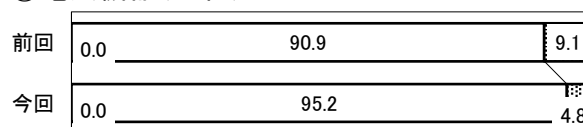
#### ③金属製品(61社)



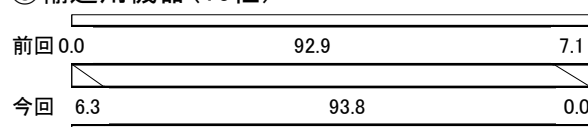
#### ④一般機器(71社)



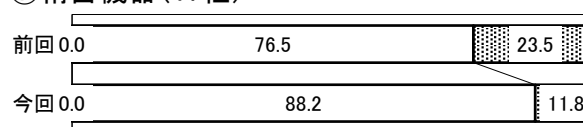
#### ⑤電気機器(42社)



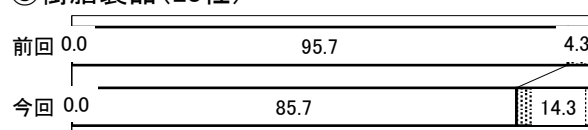
#### ⑥輸送用機器(16社)



#### ⑦精密機器(17社)



#### ⑧樹脂製品(28社)



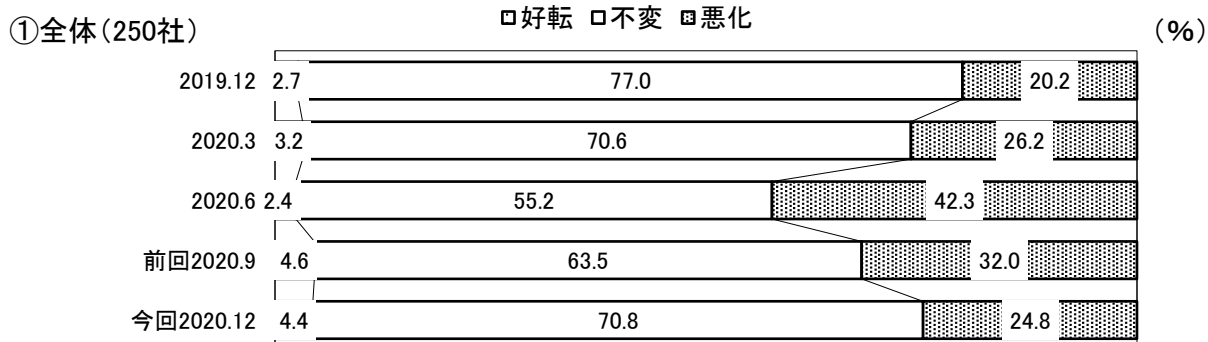
#### ○全体

- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲12.0となり、前期（7月～9月期）のD I値▲14.0と比べて2.0ポイント上昇と、全体的に大きな変化はなかった。

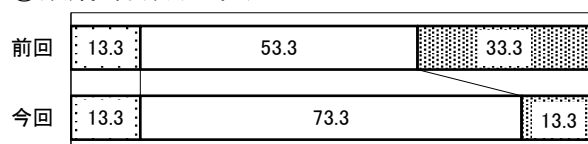
#### ○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（6.3）の1業種のみプラス。電気機器（▲4.8）、鉄鋼・非鉄（▲6.6）、金属製品（▲9.8）、精密機器（▲11.8）、樹脂製品（▲14.3）、一般機器（▲22.5）の6業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、輸送用機器（13.4ポイント）、精密機器（11.7ポイント）、金属製品（5.2ポイント）、電気機器（4.3ポイント）の4業種で上昇。一般機器（▲3.4ポイント）、樹脂製品（▲10.0ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲13.2ポイント）の3業種で低下している。

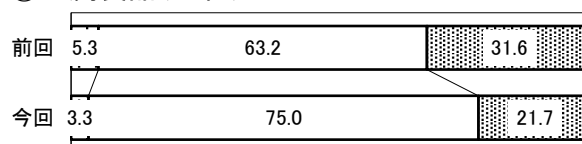
#### (4) 資金繰りについて



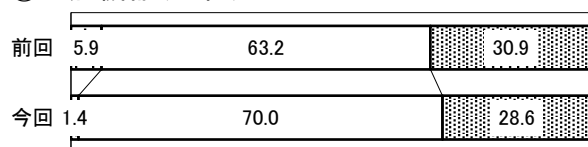
#### ②鉄鋼・非鉄(15社)



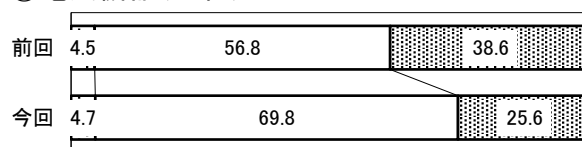
#### ③金属製品(60社)



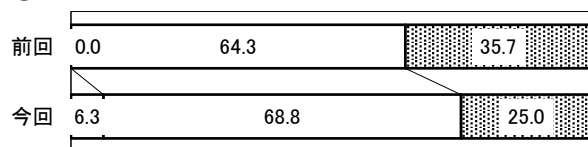
#### ④一般機器(70社)



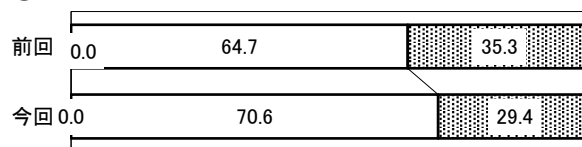
#### ⑤電気機器(43社)



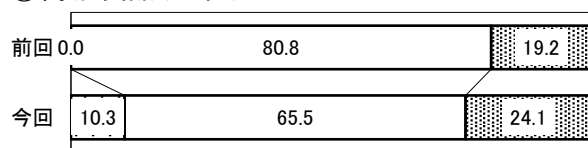
#### ⑥輸送用機器(16社)



#### ⑦精密機器(17社)



#### ⑧樹脂製品(29社)



#### ○全体

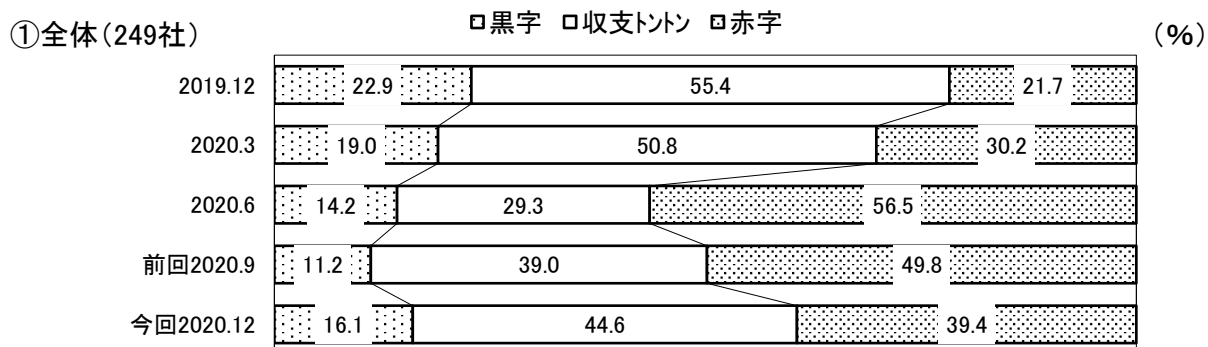
・10月～12月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲20.4となり、前期(7月～9月期)のD I値▲27.4と比べて7.0ポイント上昇と、「悪化」と回答した企業の割合が減少した。

#### ○業種別

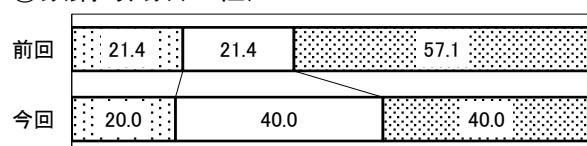
・D I値は、鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となり、樹脂製品(▲13.8)、金属製品(▲18.4)、輸送用機器(▲18.7)、電気機器(▲20.9)、一般機器(▲27.2)、精密機器(▲29.4)と6業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(20.0ポイント)、輸送用機器(17.0ポイント)、電気機器(13.2ポイント)、金属製品(7.9ポイント)、精密機器(5.9ポイント)、樹脂製品(5.4ポイント)の6業種で上昇。一般機器(▼2.2ポイント)の1業種のみ低下している。

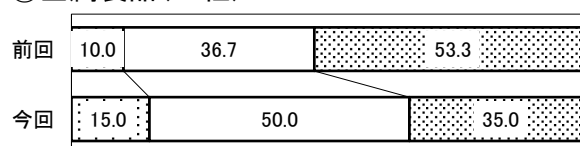
## (5) 採算状況について



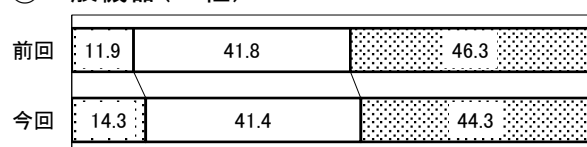
### ②鉄鋼・非鉄(15社)



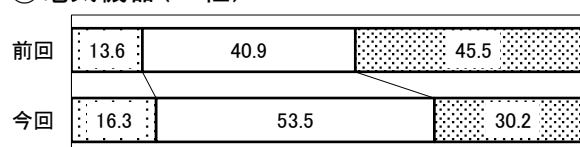
### ③金属製品(60社)



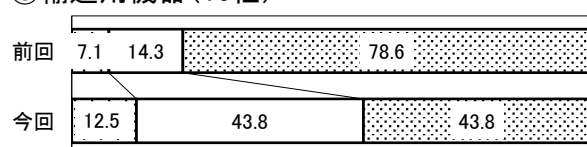
### ④一般機器(70社)



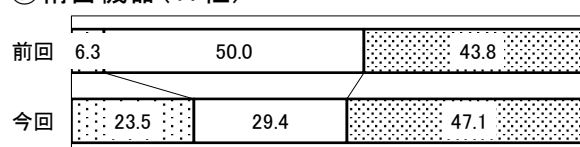
### ⑤電気機器(43社)



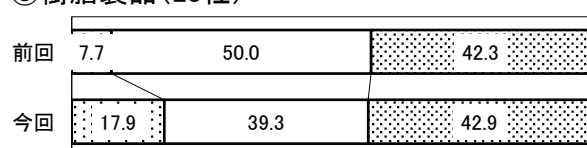
### ⑥輸送用機器(16社)



### ⑦精密機器(17社)



### ⑧樹脂製品(28社)



#### ○全体

・10月～12月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲23.3となり、前期（7月～9月期）のD I値▲38.6と比べ15.3ポイント上昇し、多くの業種で「赤字」企業の割合は減少したものの、約4割が「赤字」と回答し、

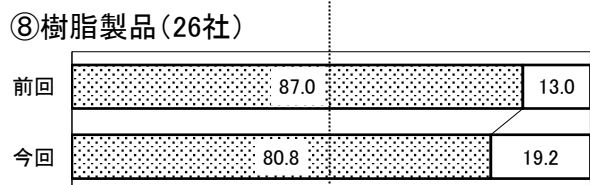
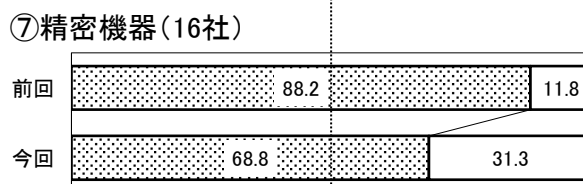
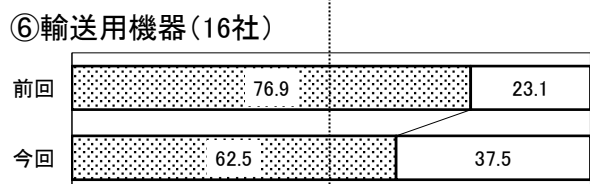
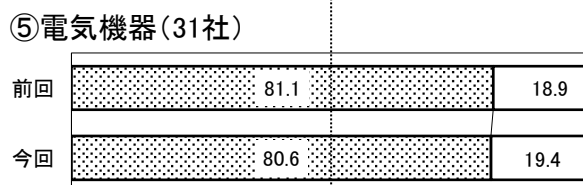
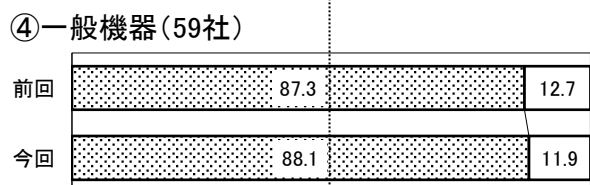
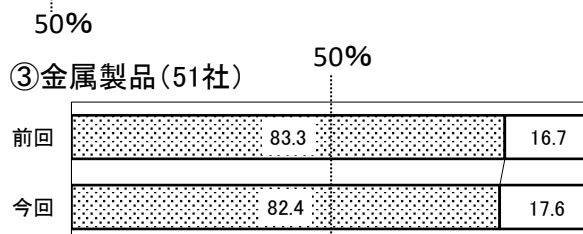
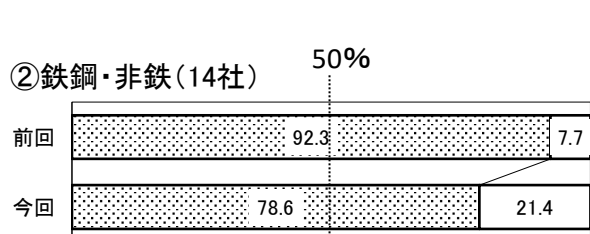
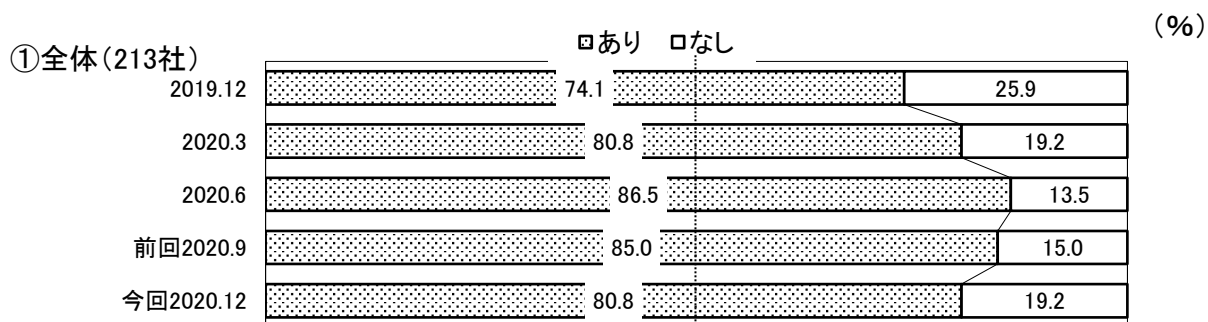
#### ○業種別

・D I値は、電気機器（▲13.9）、一般機器（▲30.0）、樹脂製品（▲25.0）、鉄鋼・非鉄（▲20.0）、精密機器（▲23.6）、金属製品（▲20.0）、輸送用機器（▲31.3）と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、輸送用機器（40.2ポイント）、金属製品（23.3ポイント）、電気機器（18.0ポイント）、鉄鋼・非鉄（15.7ポイント）、精密機器（13.9ポイント）、樹脂製品（9.6ポイント）、一般機器（4.4ポイント）の7業種全てで上



## (6) 受注余力について



### ○全体

・10月～12月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は61.6となり、前期（7月～9月期）のD I値70.0と比べ8.4ポイント低下した。

（「受注余力あり」企業が減少した＝プラス傾向）

・10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が80.8%と、前期と比較して4.2%の低下となった。

### ○業種別

・D I値は、鉄鋼・非鉄（57.2）、精密機器（37.5）、一般機器（76.2）、樹脂製品（61.6）、金属製品（64.8）、電気機器（61.2）、輸送用機器（25.0）の7業種全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・D I値を前期と比較すると、一般機器（1.6ポイント）の1業種のみ前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。電気機器（▲1.0ポイント）、金属製品（▲1.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲8.4ポイント）、樹脂製品（▲12.4ポイント）、輸送用機器（▲28.8ポイント）、精密機器（▲38.9ポイント）の6業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp